



題字 井口 文章  
再刊 第289号  
印刷・発行  
錦城高等学校新聞委員会  
編集室 2019

みんなでつくる  
錦城高校新聞

一面：新入生歓迎会で自分に合った場所探し  
3カ月間のターム留学での思い出  
二面：ルネこだいらで五輪に向けたイベント開催  
五輪に向けた小平の活動取材

# 君の輝ける場所を見つけて

## 新入生歓迎会開かれる

4月10日(水)、第一体育館で新入生歓迎会が開かれた。38の部活動と同好会、13の委員会がプロジェクトを使ったり、大迫力の実演を行ったりと、それぞれの活動を魅力たっぷりに紹介した。

各団体が全力のアピール  
吹奏楽部と室内楽部の演奏に合わせた、2年生の有志による『ハレルヤ』の合唱から新入生歓迎会は始まった。



技を決め歓声が上がると、笑顔を見せる体操部

続いて映画研究部、放送部などの文化部がスライドを使いながら部活の紹介を行なった。美術部は実際に部員が製作した灯籠を掲げてアピールを行った。

休憩の後、設立後初の新入生歓迎会参加となる合唱同好会がアカペラで『やさしさに包まれたなら』を披露。心地のいいハーモニーに会場は魅了されていた。邦楽同好会は『美女と野獣』を弾で演奏しながら部活紹介。和の音色で会場を包みこんだ。



華やかなドリルを披露する吹奏楽部

最後に委員会紹介の映像が流れ、各委員会活動について委員長が説明し、新入生歓迎会は幕を閉じた。

## 2か月の海外生活で得たものは



ターム留学の思い出を語る奥村くん(左)と増古さん(右)

1月30日(水)から4月6日(土)の66日間、オーストラリアにターム留学に行った増古朋美さん(2日)と奥村志志くん(2A)。平日は豪州南部にあるメルボルンの「Bayside Christian College」に通い、数学や理科などを英語で受けていたという。奥村くんは体育が1番楽しかったと言いつつ、クリケットやオーストラリアンフットボールなどが印象に残っていると話す。

## 今年も歓迎ハレルヤ大成功



例年通りオープニングを飾った『ハレルヤ』。昨年に引き続き合唱の指揮者になった玉野井太志くん(3J)は「とてもいい演奏ができたと思います」と振り返り、自分自身も自信をもって楽しく指揮を振れたという。1年生が「中学とはレベルが違うな」と思えるような完成度を目指したと言いつつ、本番では歌と指揮とオーケストラが一体になった、1番良い演奏ができたと言った。

部活や委員会は高校生活で多くの時間を過ごす。見学体験などに参加し、よく考えて選んでいこう。

## 部活 掲示板 #急募 #君の入部届をもらいたい

**剣道部**  
3年生部員男子3人、女子6人で活動しており、2年生の部員はいなく、1年生を大募集。部員の小山奈緒さん(3E)によると活動日は水・日曜日以外の週5日。初心者・経験者、男女問わず募集しており、「剣道ってなかなか始める機会がないと思うけど、何か新しいことを始めたい人は是非」と結んだ。

**合気道同好会**  
3年4人、2年2人で活動中の合気道同好会。部員が少なく1年生を募集。代表の堀ユキさん(3D)は活動日は月、火、金で「勉強と部活の両立がしやすい」とアピール。兼部も可能という。1年生に向けて「柔道場で待ってます!気軽に来てください!」と笑顔で呼びかけた。

**鉄道研究部**  
2年生部員4人のみで活動している鉄道研究部も1年生急募。火曜日と木曜日に、7階の部室で活動しており、主に鉄道模型やジオラマの制作、鉄道を使っての旅行などを行っている。部長の宮部泰河くん(2F)は「鉄道に詳しい詳しくないに関わらず、入った人皆が楽しめる部活です」と語った。

**むらさき草**  
錦城高校に入学してから早くも1年が経った。まだ着慣れない制服を着て、買ったばかりの自転車に乗った通学路。毎日胸を躍らせながら通ったその道も、今となってはもう見慣れたものとなってしまった。春休み、東京デイズニードへ行ったら、何度行ってもゲートを開けず、だんだん姿をあらわすシンデレラ城を見ることが出来る。東京デイズニードは幼い頃から大好きで何度も訪れたことがあるのに、今もワクワクするのはなぜだろう。創設者のウォルト・デイズニードは、人々に愛され続けるには新しいアイデアでパークを改良し続けていく必要があると彼は考えていたのだ。彼の言葉通り、東京デイズニードではシーズンイベントを開催しており、イベントの装飾やショー・パレードによって季節ごとに違うパークの雰囲気を楽しめる。だが変化しているのはこれだけではない。パーク内には約6千種の樹木や花が植えられており、緑のキャストと呼ばれるスタッフがこれらの手入れをしている。彼らによって植物は頻りに植え替えられ、常に新たな景観でパークを彩っている。いわば「背景」である植物を変えていくことで無意識のうちに私達に新鮮さを与え、初めてパークを訪れた時の「ワクワク感」を常に保ち続けているのだ。日常の中にも小さな変化がある。先日、いつものように自転車を走らせていると、スクールバッグの上に桜の花びらが落ちてきた。見上げてみると1年前入学した頃のように桜が咲き誇っていた。見慣れた通学路がいつもと違う場所へ変わった。見慣れないものなどない。見慣れた通学路でさえも毎日違う景色を見せてくれる。「背景」の小さな変化に目を向けると、毎日繰り返される同じ日常が全く違うものに見える。普段見過ごしがちな小さな発見は、私達の毎日をワクワクさせてくれるはずだ。

**鉄道**  
土木研究部  
入の集まり次第  
旅行も出来ます。  
先代では、熱海、碓氷、山崎などに行きました。

**弓道部**  
一緒に練習しませんか?  
初心者歓迎  
活動日:冬休みと春休み

**スキー同好会**  
一緒に練習しませんか?  
初心者歓迎  
活動日:冬休みと春休み

**剣道**  
初心者大歓迎!  
体育着を持ってきてね!  
活動場所:柔道場  
活動日:月・火・金

**ES S部**  
活動日:月・金  
(~16:30まで)  
活動場所:旧校舎2階 英会話室  
顧問:納富先生  
男子女子共に大歓迎!  
お待ちしております!



# 東京2020大会へカウントダウン

## ルネこだいらいらでイベント開催

3月22日(金)15時よりルネこだいらいら中ホールで「東京2020、開催まであと500日!東京2020に向けたトークセッション」小平が開催され、小平市長や教育委員会、小平観光まちづくり協会の方をはじめ、市民も多く参加した。

### 小平市の取り組みを紹介

イベントには小林正則市長をはじめ、小平市の団体が多く参加。またゲストとして吉田昌子さん(女子バレーボール・モントリオールオリンピック・金メダリスト)、西見健吉さん(スリリング・アトラクション・三阪洋行)、オリビック出場、三阪洋行さん(ウイールチェア・アトラクション・アテネから3大会に出場)の3人のオリパラ経験者と、

上田初美さん(女流棋士・現小平市観光まちづくり大使)も登場した。

第1部では小平で行っている取り組みが、市役所、小平市民プロジェクト、小平商工会、こいだいら観光まちづくり協会によって紹介された。第2部は小平市の団体とゲスト4人によるトークセッションが繰り広げられた。第3部では小平市にゆかりがある東京2020大会の出場を目指す村上

### アスリートが語るオリパラ

試合のたつた一瞬のために4年間を費やしているアスリート達。トークセッションで三阪さんはオリピック・パリンピックの難しさを「毎日の血の滲む努力をしても、本番のわずかな数分間に今までのピークの状態を持って来る必要があること」と話した。

印象に残っている応援について吉田さんは、広い会場での日の丸が見えた時を挙げる。「日の丸を持って『頑張れ!』と応援してくれる姿にすごく励まされました」と語った。

### 残り500日を切った東京大会にむけて

活発なトークセッションとなった



残り500日を切った東京大会にむけて活発なトークセッションとなった

### オリパラと小平市の交流を

競技会場が近くにない小平市は、東京2020大会に地域としてどう参加していけるのか。トークセッションで西見さんは「小平市も各団体の選手の前合宿地に立候補してみたい」と提案。

三阪さんは、東京2020大会には身体の不自由な人も多く来日することが予想されるため、より多様性のある受け入れ態勢を作ることが必要だと指摘。小平市内には競技



イベントのチラシ

また、外国からの観光客に楽しんでもらうだけでなく自分も楽しむことが大事だと話す。「アスリートも日本人も外国人も『一緒に楽しもう!』という姿勢がオリパラ成功の秘訣です」と語った。

### 主催者に聞く

イベント終了後、イベントを主催した小平市役所文化スポーツ課の林弘子さんに話を聞いた。林さんは小平に競技会場はありませんが、小平でも大会に関わることを市民に広めたい」と意気込む。小平市では2020年を

### 経験から見えてきた

「おもてなし」

トークセッションで「モントリオールオリンピック」に出場した際に現地の人が笑顔で話しかけてくれた」と吉田さん。そこで市民の「おもてなしの心」を感じることでできたという。簡単な英語を使って、笑顔で話しかけることが大切だと話した。

### 「小平からも盛り上げたい」とイベントを企画

「応援は力にも、プレッシャーにもなる」と三阪さん。東京2020大会に向けて「自国が負けているときの応援の仕方が大事」と力を込めた。

## 東京大会×小平市

地元小平市は、競技予定場がない中でどうやって東京2020大会に取り組んでいくのか。第1部では地域団体により2020年に向けた小平市の取り組みが紹介された。小平市民プロジェクトの活動のひとつに「スポーツごみ拾い」、通称「スポごみ」というゲーム型のスポーツを通して活動を計画している。これ

はチームに分かれて制限時間内に集められたごみの量を競うスポーツだ。今後、大会を小平市で開催する予定。他にも、小平市民プロジェクトでは年齢を問わず参加可能なボランティアを多く行っている。

小平商工会ではオリピック大会で小平市にゆかりのある選手を応援するために横断幕を製作。小平商工会長の



商工会作成の横断幕を披露 右端のQRコードからHPへ

白壁さんは「横断幕を見つけた時にぜひ声をかけてください」と呼びかけた。国内外に向けたPR活動の紹介を行ったのは小平観光まちづくり協会。魅力を発信するためのガイドブックの製作や、小平市民が出演している映像作品の作成など、多くの取り組みが紹介された。「スポごみ」などの活動は誰でも参加することができ、興味がある人は検討してみたいと思うか。(杏)

## オリンピックにQ&A

第3部終了後、吉田さんと西見さんに時間を作ってもらい、取材することができた。

Q1 2020年東京でオリパラが開かれると聞き、どう思いましたか

吉田さん..最高でした。1964年の東京オリンピックのとき私は10歳だったので、あまり記憶に残っていないのですが、今はオリンピックとして嬉しいですね。

西見さん..地元で開催されると聞いて、とても嬉しく思っています。生きていくうちにまたスリリングの技が決まった瞬間や、会場の一体感を実際に感じたいですね。

Q2 なぜこのようなイベントに参加したのですか

吉田さん..東京オリンピック・パリンピックを市から盛りあげようという林さんからのお願いを受けて、活動を盛り上げる力になりたいと思います。(杏)

Q3 高校生へメッセージをお願いします

吉田さん..夢の実現に向かって努力し続けてほしいです。努力の積み重ねが良い結果を招くと思います。

西見さん..自分の夢と目標を持って努力の過程を大切にしてください。(杏)

「小平からも盛り上げたい」とイベントを企画

今回のイベントでは地元小平市の東京2020大会に向けた活発な取り組みを知ることができた。編集委員の1人は「アスリートたちの生の声を聴いて、自分も何かしらの形で東京大会に関わってみたい」と2020への抱負を述べた。

大会報告

ハンドボール部女子 3月30日(土)

第72回江戸川区総合大会 春季区民大会 第15回江戸川区春季ハンドボールオープン大会 高校女子

1回戦対本所高校戦勝利 2回戦対石神井高校戦勝利

ソフトボール部 4月7日(日)

▽平成31年度春季ソフトボール大会 優勝

生徒会動静 4.8~4.14

4月13日(土) 体育学芸委員会 和室で活動予定

### 邦楽同好会

活動日 火曜日、木曜日、土曜日

活動場所 旧校舎3階一般教室(旧和室)内

部員数 3年生2名、2年生4名 計6名

兼部可。未経験者でも大歓迎!!

古典からJPOPまで様々なジャンルを演奏し、友達と一緒に和音を楽しみたい!!

### 女子硬式テニス部

活動日 (火)(水)(木)(金)(日)

活動場所 秋田の森テニスコート

現在部員3名、2年生1名、1年生2名

活動したい、テニスが好き、友達と遊ぶ、強くなりたい、部活を通してのびたい、部活を通してのびたい、部活を通してのびたい

今、テニスの魅力が、部活を通してのびたい、部活を通してのびたい、部活を通してのびたい

### フットサル

活動日 月・火・木・土・日

活動場所 127コート (体育館の横のコート)

活動人数 男子46人 女子24人 (22-24人)

男子仲間、経験者でも未経験者でもOK!!

選手、マネージャー共に大募集中!!

練習場を希望する方は体育館と運動靴ももってきてください!!

ぜひ2020に向けて、部活を通してのびたい!!

### 女子バスケットボール部

活動日...火、水、木、金、土、日

活動場所...火:第一体育館 水:第二体育館 木:第一体育館(第二体育館) 金:外観(休場、うさぎ) 土:第一体育館 日:試合など

三年生五人、二年生七人で活動しています。マネージャーも募集しています! バスケが好き、やる気のある人、ぜひ体験・見学に来て下さい!! お待ちしています!

### 男子バスケットボール部

顧問の先生3人

プレイヤー 30人

マネージャー 3人

の、計36人で活動しています。

毎週金曜日はOFF日。

火曜日は部活、それ以外の日は体育館練習をします。

「精神一到、石をもつて」の精神で頑張っています。

少しは興味を持って、部活の楽しさを是非体育館で見学に来て下さい!!

17マン、頑張る。

七階にて活動中!!

新教ライク

4/13 4/27

音楽室

## 報道陣向けの記者会見に参加

文化プログラムの一員として招待され、4月4日虎ノ門ヒルズで開かれた「東京2020NIPPONフェスティバル」組織委員会主催4事業制作発表会を取材した。福島県や都内の中学生の参加者と報道陣向けの記者会見を見学。会見ではフェスティバルのスタートとなるキックオフイベントをはじめ、イベントのテーマや開催時期、担当するクリエイティブディレクターが発表された。

発表会終了後、中学生向けの取材会に参加した。取材会では東京2020大会エンブレムをデザインしたアーティストの野老朝雄さんや文化教育委員会委員長の青柳正規さんなど記者会見に登壇した人に取材することが出来た。青柳さんは前回の東京オリンピックでの経験を交えて「ぜひ積極的に海外から来た人とも交流してほしい」と語った。(加)

### 生徒会動静

4.8~4.14

4月13日(土) 体育学芸委員会 和室で活動予定

### 大会報告

ハンドボール部女子 3月30日(土)

第72回江戸川区総合大会 春季区民大会 第15回江戸川区春季ハンドボールオープン大会 高校女子

1回戦対本所高校戦勝利 2回戦対石神井高校戦勝利

ソフトボール部 4月7日(日)

▽平成31年度春季ソフトボール大会 優勝